

PWA 韓国大会 Neilpryde & JP 上位独占!!



Photos PWA

Neilpryde & JP を使用して優勝したチャンプ「アントワン・アルボー」

2009年度のPWAワールドカップは1年間のツアーを通して、初回の大会で登録した同じ3本のプロダクションボードと6枚のセイルで戦わなければならない。それをPWAでは競技種目としてSLALOM63「スラローム・シックススリー」と称している!

今年で3年目となるPWAウルサンワールドカップは、韓国ウルサンのジンハービーチで行われ、大会会場には昨年の世界チャンプ「アントワン」、ボードとセイルのブランドを一新した「ピョン」、そして09ツアー第一戦で活躍した「ロス」、「ゴンザロ」、また常に上位にランクされる「ケビン」、「ジョシュ」などそうそうたるメンバーが集結した。その中には昨年骨折で戦線離脱した「マイカ」が復帰し、注目の選手になっていた。

レースは大会前半にジンハービーチ特有の風が吹き、5レース成立。その中でNeilprydeでチャンプとなり続けていて、今年からJPを使用するアントワンが3レ



Photos PWA

上位を走る Neilpryde & JP のライダー達

ーストップを走り優勝。そして怪我から復帰したマイカが Neilpryde&JP を使用し2位となった。4位には Neilpryde を使用するフィニアンが入り上位独占! 見事な圧勝となった。

近年、同じボード&セイルブランドの道具を使用する選手がワンツーフィニッシュを果たしたのは記憶に無い。しかもプロダクションを使用し、限られた道具で戦うというルールではなおさらだ。今回の成績で Neilpryde RS:Racing Evo II と JP Slalom V の性能の高さが立証され、今年のワールドツアーの注目のブランドとなった!

Name	Sail No	1R	2R	3R	4R	5R	cut	total
優勝 Antoine Albeau	F-192 NeilPryde, JP	4.0	0.7	0.7	0.7	4.0	4.0	6.1
2位 Micah Buzianis	USA-34 NeilPryde, JP	10.0	3.0	3.0	19.0	2.0	19.0	18
3位 Björn Dunkerbeck	SUI-11 Starboard, Severne Sails, Mystic	0.7	11.0	4.0	11.0	6.0	11.0	21.7
4位 Finian Maynard	KV-11 RRD, NeilPryde	12.0	9.0	2.0	12.0	0.7	12.0	23.7

JPWA トリックトライ本栖湖 '09

クラシッククラス 岩井選手優勝!!

春の本栖湖は風が強く強く吹く。その最高のコンディションを狙って行われたJPWAのフリースタイルの大会。初日は午前中風が弱かったが、午後から風が入り始めブレーニングブレーニングコンディションとなった。その大会で活躍したKUBOTA WSF OFFICE 所属の岩井裕太選手からコメントをもらった。

「この春より FIREFLY を使い、凄く軽いという印象を持ちました。安定したパワーポイントと、セイル全体のしなやかさがアンダーからオーバーまで安定したパワーを供給してくれます。更に重量の軽さと、ブームの長さを短くしたコンパクトな設計に

なっているためハンドリングも良く、セイルに振り回されること無く素早く取り回しができりカバリーもしやすいです。

FIREFLY を使うことによって、コンディションの変化や細かいミスに気がすることなく、思い切って演技することができました。」 岩井



クラシッククラスで優勝した岩井選手のゲコ

最新レーシングセイルはアウトテンションが重要!!

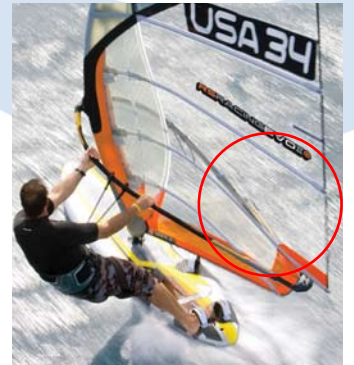
JPN67 山田選手チューニングレポート

韓国のワールドカップにも参戦した山田選手が Neilpryde の最新レーシングセイル「RS:Racing Evo II」のチューニングについてレポートしてくれた。

「今年のセイルはダイナミック・コンパクトクリューの性能が素晴らしく、幅広い風域を最速で走る事ができます。その最新機能を発揮する為には「アウトホールを引く事!」がとても重要です。一番はブレーニング中にセイルがブームに当たらない程度にカンガムで調整するのがベストです。陸上でのチューニングは難しいのですが、目安としてはブームから1cm以上離れるようにした方が良いでしょう。これが基本でここから選手の好みや使う風域でアンダー&オーバーで調整します。ダウンテンションについて、現在は規定値プラス1cm。初回のセッティングと数十回使用後では数値は変わってきますので注意してください。RS-R や Evo1 と比べると Evo II ではリーチはたるんだ状態になります。オ

バーとアンダーでは基本的にダウンテンションはいじらずにアウトで調整します。」*注意:セッティングデータは参考値とお考えください!

山田選手には次号でもっと詳しく JP SLALOM の情報も含めて解説してもらいますので楽しみに!



ダイナミック・コンパクトクリューの効果

あの「マスターズ」で J-47 加藤選手が準優勝!!

4月18・19日 三浦津久井浜にてオヤジ達の祭典マスターズ2009が行われ、私 J-47 も参加しました。初日天気は良好! 北東の風がそよそよ、結局 FUN レースを行うことになりました。

大会2日目。4~8m/s で風向きがなかなか安定しないなか第1レーススタートの合図。今日も昨日と同じ'09モデルの JP SLALOM 122L と NEILPRYDE V8 8.5 m² を使ったのはじめてのレース参加となりました。今日はブレーニングするコンディション! 出艇すると走り出しの良さにビックリ! ブレーニングに入りトップスピードになるまでとてもスムーズで滑らかに走る感じです。去年モデルはカッソーンと言う感じでトップスピードに入るのでその辺に違いを感じました。ジャイブでは122Lの大きさを感じさせないスムーズでワンサイズ小さいボードの感覚でジャイブできました。セイルは'08モデルと見た目は余り変わりませんが若干トップのツイスト量が増えたようで、トップスピードの伸びにストレスを感じません。8.5 m² というサイズの割りに軽く感じ取りまわしもこのサイズにしては扱いやすいです。

第1レースは途中で風が北に振れた上に風が落ちた為 FUN レースなり、その後北風が入り始めレーススタートする事に! スタートラインでは安定して風が入っていましたが、自分のセットは参加者の中では比較的小さめだったので100名近い一斉スタートでは混乱を避け中央よりの位置を狙いスタートする事に。自分でもビックリする程のジャストスタート! (普段スタートの練習などしたこと無いのに)2番手をキープ。スタート直後風が少し弱くなり上側から大きな SET を使う選手に一気に抜

かれたが、今回自分が使用した SET は良く走ってくれ、トップスピードに入ると122Lのサイズを忘れるくらい軽やかに走ってくれました。セミロングディスタンスのレースなのでワンマークのジャイブも122Lとは思えない位スピードを維持したままジャイブができ、3位をキープしたままフィニッシュへ向かうと、前の2人がコースを間違えている様子? 自分は一気にゴールを目指しましたが、一人が気づき一歩及ばず2位のフィニッシュとなりました!

はじめて使った道具にも拘らず良い成績を得たことは自分にとって一番ビックリした事でした。セイルもボードも癖が無く直ぐに使い易い道具と言えます。ボードについては戦闘能力の高さと風域の広さも広く感じ、V8 というフリーレースと言う部類のセイルながらレースセイルに匹敵する位の能力を感じています。気軽にスピードを楽しむならこのセイルはかなりのパフォーマンスを持っていると思います。

J-47 加藤



爆風台湾でのレースでも上位入賞常連組

J-47 加藤 幸夫
178cm・72kg・ウィンド暦26年
メインゲレンデ:三浦海岸 津久井浜
所属:マリブルー・リパティ・アルタークリエイション
使用道具:ボード:JP/セイル:NP
スラロームを得意とし、特に強風大好き。
現在ウィンドの普及の為に色々考え、レースイベントのバックアップも行う。